

港区教育史編さん基本方針

港区教育委員会は、平成29年3月15日に区政70周年を迎えるのを機に、昭和62年の「港区教育史」(上・下巻)、平成9年の「港区教育史」(資料編1、2)の刊行から経過した港区教育史を、以下の方針に基づき新たに編さんします。

1 基本方針

- (1) 江戸時代後期から始まる「寺子屋」以降、この港区の地における150年を超える教育の歩みを体系的に記録し、後世に語り継いでいける教育史とします。
- (2) 歴史的事実、学術的研究を基に、教育史の編さんを行います。
- (3) 図表や写真等を多く用い、分かりやすく親しみやすい、区民が身近に感じられる教育史とします。
- (4) 区民との協働で編さんを行うことにより、愛着が持てる教育史とします。
- (5) ICT(情報通信技術)を活用することにより、国内外に広く港区の魅力を発信します。
- (6) 収集した資料及び今後新たな研究・検証に基づく資料は継続的に収集を行い、管理・保管して後世に残すとともに、定期的に検証します。
- (7) 子どもや保護者、地域の方々の視点で「くらしと教育編(仮称)」を新たに編さんし、広く区民に手に取ってもらえるためのわかりやすい教育史とします。

2 編さん期間

平成28年度から平成34年度まで

3 公開・刊行年月

平成32年3月予定 資料でみる普及版

平成33年3月予定 港区教育史 通史編・資料編

平成35年3月予定 港区教育史 くらしと教育編

4 成果物

- (1) 港区教育史(WE B版・書籍版)
 - ①通史編
 - ②資料編
 - ③くらしと教育編
- (2) 資料でみる普及版(WE B版)